

補助事業番号 2019M-060
補助事業名 2019年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 茨城県

1 補助事業の概要

企業の生産活動に伴う品質管理や不良品対策、新製品開発などを支援するために茨城県産業技術イノベーションセンターが行っている依頼試験、設備使用、共同研究などに使用するための機器として万能試験機・スガ摩耗試験機を整備した。

2 予想される事業実施効果

①万能試験機

万能試験機で行う試験の多くは、材料の変形特性や品質評価、製品の耐久性などの尺度となる重要な試験である。そのため、企業で製造される繊維製品やプラスチック製品などの材料特性の評価や耐久性評価、クレームが発生した際の実験などに役立つことが予想される。

②スガ摩耗試験機

スガ摩耗試験機は、高強度金属などの耐磨耗性の評価や、表面処理品における素地や他の表面処理に対する耐磨耗性の評価等に用いられる。そのため、企業が製造する金属製品、メッキ加工品、ゴム製品などの様々な製品開発や製品品質保持などに貢献することが予想される。

3 本事業により導入した設備

①万能試験機

<http://www.itic.pref.ibaraki.jp/equipment/02seni/seni-new31-01-bnsk/eq-seni-bnsk.html>

本装置は、材料の強度や伸びなどの試験に用いる機器であり、繊維分野では引張試験や破裂試験を行い、繊維や織物の強度を測定するために使用し、プラスチックの分野では、主に材料の強度や伸び、設計に使用する弾性率を測定するのに使用する。

機器に取り付けるジグを交換することで「引張」「曲げ」「圧縮」など、様々な試験を行うことができる。



設置場所：【茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所】

②スガ摩耗試験機

<http://www.itic.pref.ibaraki.jp/equipment/01center/center-new31-01-sgmm/eq-center-sgmm.html>

本装置は、試料を研磨紙で摩擦することにより耐摩耗性の評価を行う機器であり、自然環境下よりも短時間での評価が可能である。また常に新しい研磨面で摩擦試験を行うことにより、研磨紙に残留する研磨カスの影響なく安定した条件下で研磨試験を行うことができる。



設置場所：【茨城県産業技術イノベーションセンター】

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 茨城県産業技術イノベーションセンター
(イバラキケンサンギョウギジュツイノベーションセンター)

住 所 : 〒311-3195
茨城県東茨城郡茨城町長岡 3781-1

代 表 者 : センター長 大力 賢次 (ダイリキ ケンジ)

担当部署 : 産業連携グループ (サンギョウレンケイグループ)

担当者名 : 係長 木村 健太郎 (キムラ ケンタロウ)

電話番号 : 029-293-7213

F A X : 029-293-8029

E-mail : renkei2@itic.pref.ibaraki.jp

U R L : <http://www.itic.pref.ibaraki.jp/>